

《資料館便り》

平成 29 (2017) 年
6 月号



石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49(1974) 年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさががけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

今年も交流！

宮城県角田市の子供たちが来町



↑ 田口和憲石川町教育長のあいさつ



↑ みんなで「鉱物標本箱作り」(公民館)

今年も宮城県角田市の子どもたちが、石川町にやって来ました。恒例の石川町・角田市の楽しい交流会です。石川町公民館で開会行事が行なわれ、田口和憲石川町教育長のあいさつ、石川町職員による交流の歴史説明の後、歴史民俗資料館の見学、和久観音山鉱山跡での鉱物採集・標本箱作りに、両市町の子どもたちは一緒になって取り組みました。

約 400 年間の友好関係ですが、一昨年からは、子どもたちの交流が大きな行事となっています。9 月には、角田市の「はやぶさ祭り」に石川の子どもたちが参加します。

石川町と角田市：両市町は約 430 年前の出来事によって、「姉妹都市」(昭和 53 年：1978) となりました。

その起源は、天正 18 年 (1590)、豊臣秀吉の天下統一にともなって、石川最後の領主となった石川昭光^{いしかわあきみつ}は石川の地を追われたことに始まります。昭光は福島県北から宮城県南部を流浪し、ようやく伊達政宗に召抱えられ、慶長 3 年 (1598) に、現在の角田市に一万石の地を与えられたのでした (昭光と政宗は叔父と甥の関係でした)。



↑ 鉱物標本を見学 (歴史民俗資料館)